

産学連携のパンフレット

女子大生流、ホテルの楽しみ方

川村学園女子大学

川村学園女子大学（千葉県我孫子市）は藤田観光株式会社（本社東京・文京区）と共に、昨年より「観光業の活性化」をテーマとした産学連携の取り組みを進めている。これまで、「目白の森女子大学」というインターネット上のプロジェクトを共同で立ち上げ、イベントや商品開発な

どのさまざまな取り組みを実施してきた。そして、さらなる新しい動きの一つとして、4月8日、オリジナルパンフレット「目白の森女子大学×東京カメラガールズ ホテル



女子大生らしい明るいタッチの表紙が魅力的だ

椿山荘東京 Photogenic Hotel」を制作した。同パンフレットは、普段ホテルに足を運ぶ機会の少ない大学生が、同世代に向けてホテルの魅力や居心地の良さを伝えることを目的としている。その端緒は、川村学園女子大の学生による「同世代にもっとホテルを身近に感じて欲しい」という思いによるもの。産学連携活動のために藤田観光の運営するホテルに足

を運ぶうち、その居心地の良さにふれ、多くの人々に伝えていきたいと考えたという。そのため誌面づくりは、「学生でも美しいホテルを大いに楽しめる」というメッセージを、女子大生目線で表現することを意識した。写真や学生たちの言葉を多用し、分かりやすく、見ているだけで楽しくなるようにデザイン。客室やレストランなどの、心地よい時間の過ごし方をコンパクトにまとめた。

また、学生たちが考えたユニークな「箱根1泊2日の旅」のプランも掲載されている。制作には日本最大級の力メラ女子サークルである「東京カメラガールズ」も参加し、パンフレットに使用する写真の撮影はもちろん、同大の学生たちと座談会を開催し、ホテルの楽しみ方やその魅力について議論した。パンフレットは他大学や関連団体に配布のほか、4月8日からは「目白の森女子大学」の公式ウェブサイトやフェイスブックに掲載されているとのこと。

今後も同大と同社は、学生が立案・企画し施行まですべてをプロデュースする「模擬挙式」など、実践的な産学連携の取り組みを継続的に行っていく方針だ。ある参加者の学生は「やって良かった、と参加した全員が思えるよう、一生懸命頑張ります！」と熱意をあらわにした。